



DIVAN JAPONAIS 1892-1893

# ロートリック全版画展

◆ 1990.8.24(金) — 9.24(月) ◆

開館/午前9時～午後5時(初日は午前10時より開展、毎週金曜日は午後7時まで)月曜日は休館日(但し、9月24日祝は開館)

入場料/一般800円 高・大生400円 小・中生200円 前売り・団体20名以上は2割引

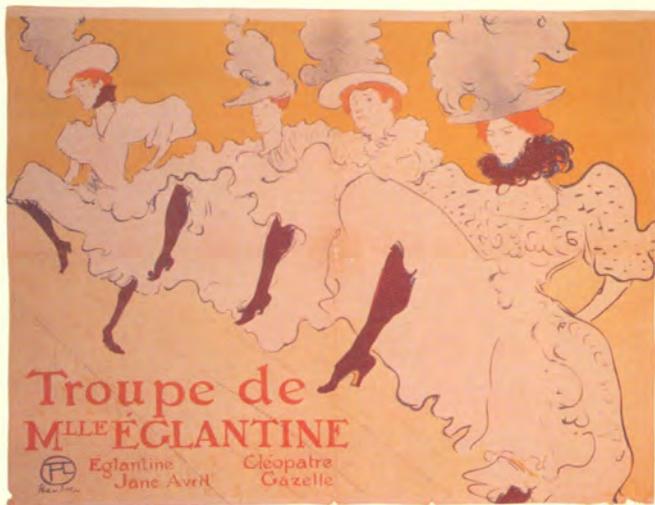


《ムーラン・ルーージュ》、ラ・グーリュ 1891



《アンバサドゥール》、アリストイド・ブリュアン 1892

トゥールーズ=ロートレック(1864~1901)は、パリの歓楽街モンマルトルの酒場に夜ごとに入出りし、「ムーラン・ルーージュ」(赤い風車という名のダンスホール)の巨匠と呼ばれました。彼は素早い正確な描線で場末の酒場にうごめく人々、劇場の踊り子、サーカスの曲芸師などを生き生きとしてとらえ、“ベル・エポック”(古き良き時代)と言われた19世紀末の退廃的なパリの息吹を哀歎をこめて表現しました。このロートレック全版画展は、36歳で酒におぼれて生涯を閉じるまでの全版画(397点)を日本で初めて一挙に公開するもので、ロートレック芸術を心ゆくまで楽しめる内容です。



エグランティーヌ嬢一座 1895~1896

## ●講演会

《ロートレックの魅力》

8月26日(日)午後1時30分より講堂にて  
講師/大森達次(女子美術大学助教授)

## 次回の展覧会

《松平家所蔵名宝展》

10月5日(金)~10月28日(日)